

Title	新田敏教授略歴・主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1999
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.72, No.12 (1999. 12) ,p.465- 472
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	新田敏教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19991228-0465

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

新田敏教授略歴

- 昭和九年五月三〇日 宮城県石巻市に生まれる
昭和三〇年三月 宮城県立石巻高校卒業
昭和三一年四月 慶應義塾大学法学部法律学科入学
昭和三五年三月 慶應義塾大学法学部法律学科卒業
昭和三七年三月 慶應義塾大学大学院法学研究科民法学専攻修士課程入学
四月 慶應義塾大学大学院法学研究科民法学専攻博士課程修了
昭和四〇年三月 慶應義塾大学大学院法学研究科民法学専攻博士課程修了
四月 慶應義塾大学法学部専任講師
昭和四二年二月 ドイツ留学（昭和四四年二月）
昭和四四年四月 慶應義塾大学法学部助教
昭和四九年四月 慶應義塾大学法学部教授
昭和五五年一月 慶應義塾志木高等学校校長（兼任）（昭和五九年九月）
昭和五七年一月 慶應義塾大学理事（兼任）（昭和五九年九月）
平成一一年三月 慶應義塾大学退職
四月 慶應義塾大学名誉教授、杏林大学社会科学部教授
日本マંション学会理事

新田敏教授主要業績

一、著書（編著、共著書を含む）

『民法講義ノート（2）物権』（田中實と共著）

有斐閣新書 昭和五五年六月

『民法講義2物権』（原島重義、高島平蔵、篠原弘志、石田喜久夫、白羽祐三、田中整爾と共著）

『第五章所有権』 有斐閣大学双書 昭和五二年九月

二、分担執筆

「金銭と即時取得」

『新版・判例演習民法2物権』 有斐閣 昭和五七年一二月

「附合」

『民法講座3物権（2）』 有斐閣 昭和五九年一〇月

「無権原者の植栽と附合」

『民法の争点I（総則・物権・親族・相続）』（法律学の争点シリーズ3・1）有斐閣 昭和六〇年六月

『民法コンメンタール（二）総則二』

「八五条～八九条」 ぎょうせい 平成元年五月

『入門法律学辞典（増訂版）』（小池隆一、前原光雄監修・手塚豊、伊東乾と共編）

泉文堂 昭和三九年二月

三、論文

「明治初年より明治民法成立に至る親権」

綜合法学六卷九号 昭和三八年九月

「民法における権利拘束の原則―債権質及び土地賃借権設定の場合を中心として―」

法学研究三八巻一号 昭和四〇年一月

- 「借家の増改築と民法二四二条」
法学研究三九卷一号 昭和四一年一月
- 「賃借権に基づく妨害排除請求権に関する一考察」
法学研究三九卷九号 昭和四一年九月
- 「所有権者に課せられた債権的拘束と物権的請求権」
法学研究四〇巻九号 昭和四二年九月
- 「ドイツにおける不動産附合法の生成―土地・建物を中心として―」
法学研究四一巻一二号 昭和四三年二月
- 「法人の行為―事実行為を中心として―」
法学研究四四巻三号 昭和四六年三月
- 「ドイツ民法制定以前における建物区分所有権の存在とその法的規制」
三色旗二七六号 昭和四六年三月
- 「立木および未分離の果実の独立性と『明認方法』の目的」
法学研究四五巻九号 昭和四七年九月
- 「区分所有権における客体の独立性」
法学研究四六巻七号 昭和四八年七月
- 「不動産物権の客体―その独立性の実質的側面と形式的側面―」
私法三五号 昭和四八年一〇月
- 「不動産物権の客体の独立性」
民事研修二〇六号 昭和四九年六月
- 「私法上の権利と客体」
三色旗三一六号 昭和四九年七月
- 「民法二五四条と区分所有法二五条―管理規約の特定承継人に対する効力―」
法学研究四七巻一二号 昭和四九年十二月
- 「民法制定過程における区分所有権」
手塚豊教授退職記念論文集『明治法制史・政治史の諸問題』慶應通信 昭和五二年三月
- 「いわゆる海面下の土地所有権について」
法学研究五一巻七号 昭和五三年七月
- 「海面下の土地所有権の問題と海面埋立権」
民事研修二七二号 昭和五四年二月
- 「附合・加工における建物所有者の決定基準」
法学研究五三巻七号 昭和五五年七月
- 「区分所有建物の存立を目的とする土地賃借権―その法的構造と賃料債務の性質を中心として―」
慶應義塾大学法学部 昭和五八年一〇月
- 「共有の対外的関係についての一考察」
慶應義塾創立一二五年記念論文集（法学部法律学関係） 法学研究五九巻一二号 昭和六一年二月

「相隣関係における信義則の機能と限界」

法学研究六〇巻二号 昭和六二年二月

「共有の対外的主張としての登記請求」

不動産登記制度一〇〇周年記念論文集『不動産登記をめぐる今日的課題』（民事研修三五九号） 昭和六二年二月

「共有の対外的主張としての登記請求」

不動産登記制度一〇〇周年記念論文集『不動産登記をめぐる今日的課題』（法務省法務総合研究所） 昭和六二年七月

月

「共有物の裁判上の分割方法に関する一考察―最高裁昭和六二年大法院判決を契機として―」

『慶應義塾大学法学部法律学科開設百年記念論文集（法律学科篇）』 慶應義塾大学法学部 平成二年九月

「共同漁業権の法的性質と漁業補償」

「取壊しの同意された建物の譲渡と登記請求権」 法学研究六三巻一二号 平成二年二月

「登記引取請求権についての一考察―主として受領遅滞との関連において」

半田正夫教授還暦記念論集『民法と著作権の諸問題』 法学書院 平成五年二月

「共有の土地と法定地上権の成否」

ゲルハルト・リュケ教授退官記念『民事手続法の改革』 信山社 平成七年六月

「建物の区分所有における専有部分の敷地利用権」

「共有物の裁判上の分割の機能と効果」 法学研究六九巻二号 平成八年二月

「名義貸による銀行の住宅ローンの貸付行為と民法九三条但書の類推適用（最判平成七・七・七）」

森泉章先生古稀祝賀論集『現代判例民法学の理論と展望』 平成一〇年九月

四、判例評釈

「判例研究」 土地賃貸借の合意解除は地上建物の賃借人に対抗できるか」

法学研究三六巻八号 昭和三八年八月

- 〔判例研究〕 土地賃借人は自己所有の地上建物の保存登記を未成年の長男名義でした場合にも建物保護法一条によってその後該土地の所有権を取得した第三者に対抗できるか」 法学研究三九卷一〇号 昭和四一年一〇月
- 〔判例研究〕 抵当権設定登記後に当該不動産について所有権移転請求権保全の仮登記を経由した者とその後に登記された抵当権の実行による競落人との優劣」 法学研究四〇巻一一号 昭和四二年一月
- 〔附合（建物）（最判昭和四四・七・二五）〕
- 『民法判例百選Ⅰ（総則・物権）』（別冊ジュリスト四六号） 昭和四九年二月
- 「相続と取得時効の新権原（最判昭和四六・一一・三〇）」 『家族法判例百選（新版増補）』（別冊ジュリスト四〇号） 昭和五〇年七月
- 「区分所有建物における規約の効力（最判昭和五〇・四・一〇）」 『不動産取引判例百選（増補版）』（別冊ジュリスト一〇号） 昭和五二年九月
- 〔最新判例批評〕 土地所有権の取得時効の要件として無過失と認められた事例」 判例評論二二七号 昭和五三年一月
- 「無権原者の播種と附合―他人の土地に無権原者によって播かれた種から生育した苗の所有権は、誰に帰属するか―」 『民法の判例（第三版）』（ジュリスト増刊） 昭和五四年二月
- 〔最新判例批評〕 高地所有者の排水のための低地通水権および通水用工作物の使用権が認められるための要件」 判例評論二五一号 昭和五五年一月
- 「相続開始前の推定相続人の地位」 『家族法判例百選（第三版）』（別冊ジュリスト六六号） 昭和五五年二月
- 〔最新判例批評〕 一、公有水面埋立法三五条二項と民法二四二条との関係 二、公有水面の埋立免許が期間経過により失効した場合と投入土砂の所有権の国への帰属」 判例評論二五三号 昭和五五年三月
- 〔金融商事判例研究〕 高層マンションに設置されたエレベーターが不動産に附合したものとは認められないとされた事例」 金融・商事判例五九二号 昭和五五年五月

「建前の仕上げと建物所有権の帰属（最判昭和五四・一・二五）」

『昭和五四年度重要判例解説』（ジュリスト臨時増刊七一八号） 昭和五五年六月

「附合（建物）（最判昭和四四・七・二五）」

『民法判例百選Ⅰ（総則・物権）（第二版）』（別冊ジュリスト七七号） 昭和五七年六月

「更新料の慣習（最判昭和五一・一〇・一）」

『民法判例百選Ⅱ（債権）（第二版）』（別冊ジュリスト七八号） 昭和五七年七月

「（最新判例批評）一、民法九二一条三号にいう相続財産と相続債務 二、限定承認に伴う精算手続の未了と民法九二九条違反の弁済による損害賠償額の算定（最判昭和六一・三・二〇）」

判例評論三三六号 昭和六二年二月

「海面下の土地所有権（最判昭和六一・一一・一六）」

『昭和六一年度重要判例解説』（ジュリスト臨時増刊八八七号） 昭和六二年六月

「（判例評釈）ゴルフ場内のいわゆるロストボールの所有および占有関係（最決昭和六二・四・一〇）」

判例タイムズ六五二号 昭和六三年二月

「森林の共有における分割方法（最大判昭和六二・四・二二）」

『昭和六二年度重要判例解説』（ジュリスト臨時増刊九一〇号） 昭和六三年六月

「（最新判例批評）区分所有権が転々移転した場合、中間取得者は、前者が共用部分・敷地に関し負担滞納していた管理費の支払義務を負わないとした事例（大阪地判昭和六二・六・二三）」

判例評論三五三三三号 昭和六三年七月

「附合（最判昭和四四・七・二五）」

森泉章教授還暦記念論集『現代民法学の課題』（法学書院） 昭和六三年九月

「遺言執行者の権限（最判昭和五一・七・一九）」

『家族法判例百選（第四版）』（別冊ジュリスト九九号） 昭和六三年一月

「附合（建物）（最判昭和四四・七・二五）」

『家族法判例百選（第四版）』（別冊ジュリスト九九号） 昭和六三年一月

- 『民法判例百選Ⅰ（総則・物権）（第三版）』（別冊ジュリスト一〇四号） 平成元年九月
- 「更新料支払義務の不履行（最判昭和五九・四・二〇）」
『民法判例百選Ⅱ（債権）（第三版）』（別冊ジュリスト一〇五号） 平成元年一〇月
- 「共同漁業権放棄の対価補償金の配分手続（最判平成一・七・一三）」
『平成元年度重要判例解説』（ジュリスト臨時増刊九五七号） 平成二年六月
- 「海面下の土地所有権」
『不動産取引判例百選（第二版）』（別冊ジュリスト一一二号） 平成三年七月
- 「遺言執行者の権限（最判昭和五一・七・一九）」
『家族法判例百選（第五版）』（別冊ジュリスト一二二号） 平成七年一月
- 「更新料支払義務の不履行（最判昭和五九・四・二〇）」
『民法判例百選Ⅱ（債権）（第四版）』（別冊ジュリスト一三七号） 平成八年三月
- 「（時の判例）（民法）いわゆる全面的価格賠償の方法による共有物分割の可否（最判平成八・一〇・三二）」
法学教室一九九号 平成九年四月
- 五、書評
- 「（紹介と批評）伊藤正巳著『プライバシーの権利』」 法学研究三六巻六号 昭和三八年六月
- 六、その他
- 「（法学ルポ）「契約農業」―大府町と土浦市を訪ねる―」（宮崎俊行教授と共同執筆）
綜合法学六巻七号 昭和三八年七月
- 「書棚・民法」
三色旗二二九号 昭和四二年二月
- 「（座談会）学習シリーズ・専門課程への道」
三色旗二九七号 昭和四七年二月

- 「(研究余滴) 区分所有者の受ける拘束」 三田評論七五三号 昭和五〇年一月
「民法(財産法) に関する基本文献」 三色旗三三二号 昭和五〇年一月
「(座談会) 卒業論文をめぐって」 三色旗三八一号 昭和五四年十二月
「(フォーラム・エッセイ) 男と家事」 旬刊金融法務事情一一六八号 昭和六二年一〇月
「(激震・弱震) 学習からの脱皮を」 三色旗一九八九年六月号 平成元年六月
「(巻頭言) 『幻』の階層区分所有建物」 受験新報四三巻一号 平成五年一月
「これから民法を学ぶ人に」 三色旗一九九三年三月号 平成五年三月
「(論点) 被災マンションの法的課題」 読売新聞一九九七年一月一七朝刊 平成九年一月
「(人見康子先生追悼記事) 職責全うへ全力疾走」 法学研究七一巻六号 平成一〇年六月
「知的喜びを知る人間の育成の場として」 『志木高五〇年』 慶應義塾志木高等学校 平成一〇年九月